

授業科目名	治療のためのNP実践演習		単位数	2単位	時間数	
授業科目名英字	Exercise for medical treatment about Nurse Practitioner		必修・選択	NP必修	受講対象年	1年次
科目コード	9510102	授業の形式	講義、演習	講義室等	第6講義室	
開設学期等	後期 土曜日 7・8 時間					
【担当教員名】	【職名 / 所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名 / 所属】	【研究室番号】
安藤秀明	教授 / 看護学講座	C-112	6501	吉岡政人	教授 / 看護学講座	C-104
授業の目的・到達目標						
<p>すべての診療行為（特定行為に関する医行為を含む）について、シミュレータを用いて演習を行う。手技に関しては、OSCEを実施して実践能力を評価担保する。また、患者の治療・療養の場は急性期のみならず慢性期あるいは療養の場においてもシームレスな連携が必要のため、これをふまえた適応、対応、効果判定、記録を修得する。</p> <p>急性期・慢性期領域疾病に対するアセスメント、必要な検査、処置・治療について、事例ベースに、診療の時間経過とともに変化する対応を検討修得する。</p> <p>(1) 気管内挿管チューブ調整、人工呼吸器管理を学び、理解する。 (2) 循環器サポート機器（ペースメーカー、経皮的肺補助装置・大動脈内バルーン・パンピング）を学び理解する。 (3) 循環器病態に投与する薬剤効果・有害事象を学び、理解する。 (4) 術後留置ドレーン管理を学び、理解する。 (5) 栄養管理、血糖管理、中心静脈カテーテル管理、末梢型中心静脈カテーテル管理について学び理解する。 (6) 動脈血ガス分析について学び説明出来る。 (7) 透析関連について学び、理解する。</p>						
授業の概要と進行予定及び進め方						
<p>講義（放送授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導 講義（手技動画）（放送授業・面接授業）：手技動画の視聴/手技練習の観察評価 【時間外学習】各回の授業内容について、復習する。</p>						
成績評価の方法		教科書・参考書・参考文献等				
講義でのグループワーク観察評価および形成試験。総合単位認定試験（筆記試験）。各実習については（DOP s 等）観察評価。		教科書等	書籍名	著者	出版社	
コメント	本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目である」 医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。					
授業展開		Web受講	授業内容			
第1回 後期履修期間		?	【気道確保】 手順書の作成 / 位置調整 / トラブル対応 【人工呼吸器】 侵襲的陽圧換気の設定変更 【長期呼吸療法】 気管カニューレの交換 麻酔科学講座：木村哲・佐藤浩二・堀越雄太、耳鼻咽喉科学講座：小泉 洸・齋藤秀和・川崎洋平			
【担当】						
第2回 後期履修期間		?	【一時的ペースメーカー】 リード抜き 【経皮的肺補助装置】 操作および管理 【大動脈内バルーン・パンピング】 補助頻度の調整 循環器内科：飯野健二、心臓血管外科 角浜孝行・田中郁信、麻酔科学講座 木村哲・佐藤浩二・堀越雄太			
【担当】						
第3回 後期履修期間		?	【心嚢ドレナージ】 ドレーン抜き 【低圧胸腔内持続吸引】 設定とその変更 心臓血管外科：角浜孝行・田中郁信、呼吸器外科：今井一博、食道外科：佐藤雄亮			
【担当】						
第4回 後期履修期間		?	【腹腔ドレーン】 抜き 【胃瘻・胃瘻ボタン・腸瘻・膀胱瘻・腎瘻】 交換 消化器外科：熊谷健太、消化器内科：松橋保、後藤隆、泌尿器科：羽濑友則・井上高光・成田伸太郎・齋藤 満・沼倉一幸・奈良健平・小泉 洸			
【担当】						
第5回 後期履修期間		?	【中心静脈カテーテル管理】 抜き 【末梢型中心静脈カテーテル】 抜き / 挿入 腫瘍内科：福田耕二、血液内科：藤島真澄・鶴生川久美・奈良美保・郭 永梅・池田 翔・小林敬宏、循環器内科：寺田 健・関 勝仁			
【担当】						
第6回 後期履修期間		?	【創傷管理】 褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 / 壊死組織の除去に伴う出血の止血方法 / 局所陰圧閉鎖法 【創部ドレーン】 抜き 【皮膚損傷に係る薬剤投与】 薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整 腫瘍内科：福田耕二、皮膚科：山田勝裕、心臓血管外科：角浜孝行・田中郁信、麻酔科学講座：白山公幸			
【担当】						
第7回 後期履修期間		?	【動脈血ガス分析】 直接動脈穿刺法による採血 / 橈骨動脈ラインの確保 麻酔科学講座：木村哲・佐藤浩二・堀越雄太			
【担当】						
第8回 後期履修期間		?	【透析関連】 血液透析器 操作および管理 血液透析濾過器 操作および管理 泌尿器科：井上高光・成田伸太郎・齋藤満・沼倉一幸・奈良健平			
【担当】						
第9回 後期履修期間		?	【栄養】 手順書作成 高カロリー輸液投与の調整 糖尿病内科：藤田浩樹・森井 空・菅沼由美・福岡勇樹・佐藤雄太			
【担当】						
第10回 後期履修期間		?	【水分管理】 手順書作成 輸液投与量や電解質の補正 麻酔科学講座：木村哲・佐藤浩二・堀越雄太、循環器内科：寺田健・関勝仁			
【担当】						
第11回 後期履修期間		?	【感染に係る薬剤投与】 感染徴候のある者に対する薬剤の臨時投与 血液内科：藤島真澄・鶴生川久美・奈良美保・郭永梅・池田翔・小林敬宏			
【担当】						
第12回 後期履修期間		?	【血糖コントロールに係る薬剤投与：インスリン】 投与量の調整 / 用量判断基準 / 製剤調整 / 患者教育 / 退院支援 糖尿病内科：藤田浩樹・森井空・菅沼由美・福岡勇樹・佐藤雄太			
【担当】						
第13回 後期履修期間		?	【術後疼痛】 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤投与と用量調整 麻酔科学講座：木村哲・佐藤浩二・堀越雄太			
【担当】						
第14回 後期履修期間		?	【循環動態にかかわる薬剤投与】 判断基準と手順書作成 持続点滴中のカテコラミン・降圧剤の投与量の調整 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整			
【担当】						
第15回 後期履修期間		?	【精神及び神経症状に係る薬剤投与】 判断基準と手順書作成 抗けいれん剤の臨時投与 抗精神病薬の臨時投与			
【担当】						